

開催日：平成29年8月25日（金）

場所：三重県立美術館 会議室2

平成29年度第1回三重県立美術館協議会 開催結果

平成28年度事業について

- ・「猫まみれ展」「再発見！ニッポンの立体展」等バラエティーに富んだ展示であって美術館が変わってきたという印象がある。入場者が目標を上回ったものもある。学芸員が世代交代する中で疲弊してしまわないよう運営してほしい。
- ・作品購入がここ6年ほどできない状況であり、学芸員の経験の場もなくなっている。寄贈に頼っているが、美術館側から寄贈の希望を発信することもよいのではないか。
- ・グーグル・アートプロジェクトへの参加等活動を行っているが、SNS等をうまく使ってPRしていくとよい。

平成29年度事業について

- ・「ベスト・オブ・コレクション展」美術館のコレクションは学芸員のこれまでの見識が詰まっているので、大事にしてほしい。県民の宝である。
- ・「テオ・ヤンセン展」は子供たちが興味を持っていて、非常に評価している。地方にもこういうニーズがあることがわかった。
- ・「本居宣長展」は時代の背景や人物、図録の解説を丁寧にしたほうがよい。国学は言語学だが、美術でどう見せるのか期待している。
- ・今の子供たちはインスタグラム等に興味があるので、身近なツールとして活用するとよい。

来館者アンケートについて

- ・アンケートを財産として活用していただきたい。「何をするのか」という目的意識をもってアンケート項目を考えてほしい。
- ・ホームページのアクセス件数は頻繁にチェックしたほうがよい。